

快適・創造・イノベーション

アクリルエマルション系
微弾性下地調整塗材

DIA

ダイヤ
アクリスコイラー

JIS A 6909 可とう形改修塗材E

F☆☆☆☆

各種の改装下地調整に最適。
工事の流れをスムーズにし、工期を短縮します。

● 各種の下地調整に最適

弾性系塗材の塗替えのほか、各種既存塗膜の下地調整に適しています。

● 良好な下地追従性

可とう性を有していますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックが生じにくくなります。

● 優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れなどへの目つぶし効果(充てん性)に優れ、付着性を向上させます。

● シーラー不要で工期短縮

シーラーが不要ですので作業性が良く、工程、工期の短縮ができます。

BUILDING TRUST



ダイヤアクリスフィラー

特長

● 各種の下地調整に最適

弾性系塗材の塗替えのほか、各種既存塗膜の下地調整に適しています。

● 良好な下地追従性

可とう性を有していますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックが生じにくくなります。

● 優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れなどへの目つぶし効果(充てん性)に優れ、付着性を向上させます。

● シーラー不要で工期短縮

シーラーが不要ですので作業性が良く、工程、工期の短縮ができます。

性能試験データ

試験項目	品名	アクリスフィラー	試験方法
付着強さ N/mm ²	標準状態	1.6	JIS A 6909
	浸水後	1.0	
温冷繰り返し試験		異常なし	JIS A 6909
可とう性		異常なし	JIS A 6909
ひび割れ充填性		異常なし	JIS A 6909
既存塗膜との付着性 吹付けタイル面	アクリルリシン面	○	JIS A 6909
	スタッコ面	○	
	アクリルエマルション系上塗り	○	
	アクリル溶剤系上塗り	○	
	弾性アクリル溶剤系上塗り	○	
	ウレタン溶剤系上塗り	○	
仕上塗材の適合性	ナチュラルウレタン	○	JIS A 6909
	パーマールウレタン	○	
	パーマールシリコン	○	
	セラナノン	○	
		○	

施工・保管上の注意点

- 【塗膜の調整(改修)】
- ① 屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
 - ② 使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
 - ③ 各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。
 - ④ 脆部層が薄い場合には、取り除いてから施工して下さい。
 - ⑤ チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- 【材料の保管・管理】
- ① 開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
 - ② 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- 【施工】
- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
 - ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
 - ③ 材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時塗物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりとなります。
 - ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
 - ⑤ コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
 - ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
 - ⑦ 施工にあつては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
 - ⑧ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
 - ⑨ 本施工に入る前に試験塗布を行い、施工のタミミク、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
 - ⑩ 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるとときに仕上らないことがあります。特に黒色や下地の吸い込

標準施工仕様

改修仕様(例)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい					
下地処理	ダイヤアクリスフィラー	16 kg	0.3~0.5 kg/m ²	1	—	5時間以上
	中毛ローラー	1.0~1.3%				
上塗り(U)	ダイヤパーマールウレタン	16 kg	0.25~0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—
	清水	0.5~2.0%				
上塗り(Si)	ダイヤパーマールシリコン	16 kg	0.25~0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—
	清水	0.8~1.6%				
上塗り(Si)	ダイヤセラナノン	16 kg	0.3~0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—
	清水	0.8~1.6%				

※ほかの上塗材についてはお問い合わせください。

施工器具

- 中毛ローラー、多孔質ローラー

適用下地

- 塗り替え：弾性塗材、リシン、スタッコ
吹付けタイル面など

梱包単位

ダイヤアクリスフィラー …………… 16 kg/18%

*ダイヤアクリスフィラーの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する事があります。

特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクリスフィラーを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/㎡以上)を推奨します。

○……可能

△……条件付きで可能

- みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- ① 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
 - ② 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
 - ③ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
 - ④ 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
 - ⑤ ツルギや無機系などの難着塗料が塗られている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますのでご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
 - ⑥ 可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
 - ⑦ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
 - ⑧ 乾燥時間は、温度、湿度および、風等により差異が生じます。
- 【安全衛生上の注意】
- ① 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 - ② 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
 - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
 - ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑧ 中身を思い切ってから廃棄して下さい。
 - ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
 - ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ① その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
 - ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
 - ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(23.7月現在) 23.07.500 SJ